

平成 30 年度 第 49 回東海北陸社会教育研究大会 岐阜大会開催！

10月18日～19日、大垣市において＜大会主題＞学びと絆を深める社会教育と題して、「第49回東海北陸社会教育研究大会」が開催されました。折しも大垣市は市制100周年を迎え、開会のアトラクションでは「ブラームスと箏の音の出会いはウィーンから始まった」として、音楽と映像で大垣市の魅力が紹介されました。

また、「みんな・いっしょに～多様性尊重教育～」と題して、安田和夫講師（聖徳学園大学教授）による記念講演がありました。自身の聴覚障がいの体験から障がい者を中心に据えた仲間づくりについて、学校現場や地域での具体的な事例をあげて講演されました。

大会宣言文採択の後には、岐阜県の西村会長から三重県の山口会長に大会旗が引き継がれ、**来年度第50回大会は三重県津市で開催される運び**となりました。

2日目は、「家庭教育支援」、「青少年の健全育成」、「地域文化の振興」、「地域の活性化」、「社会教育委員の役割と課題」など5つの分科会があり、社会教育力の向上、今後の社会教育のあり方等について研鑽を深めました。



『三重県いじめ防止フォーラム』に参加

11月1日、三重県総合文化センターにおいて「三重の教育談義」がありました。今年度は、「三重県いじめ防止条例」の施行を受け、**社会総がかりでいじめの問題を克服していくため『三重県いじめ防止フォーラム』**が開催され、約1100人が参加しました。

いじめ問題を考える夏の交流会で出会った高校生が「いじめ防止行動宣言」と題して、いじめ解決に必要な行動として「あいさつ つながり りかい いい社会」のしりとり言葉を発表。

三重県知事がコーディネーターとなったパネルディスカッションでは、高校生から「大人が気軽に声かけをしてもらうなど、少しでも相談しやすい環境をつくってほしい」といった意見が出されました。

名張市社会教育委員との交流会

11月21日、名張市を訪れ、名張市社会教育委員の皆さんと交流をしました。開会に際しては上島名張市教育長から歓迎の挨拶と教育行政の取組みについての説明がありました。

午前中は、名張市立百合が丘小学校で学習支援ボランティアが活躍している授業を参観しました。この活動で「地域学校協働活動」の推進が評価され、平成28年度には文部科学大臣表彰を受けました。また、放課後こども教室の活動も盛んで、「なが〜い巻きずしチャレンジ」や「夏休み合宿」など毎月楽しい行事を企画しています。支援する地域サポーター約40名の人たちに加え、中高生のジュニアサポーターも活躍しています。

社会教育委員としては、生涯学習推進に関する指針や文化芸術の振興及び文化資源の活用、家庭教育についてなど、毎年、意見書等を作成して提出しています。

鈴鹿市考古博物館 見学しました！

Suzuka Municipal Museum of Archaeology



社会教育委員の調査研究の一環として、9月14日に国分町にある「考古博物館」を見学してきました。当日は、収蔵庫・資料室 特別展示・常設展示を見学しながら、学芸員から丁寧な説明を受けました。

今年は、開館20周年記念として「三重のはにわ大集合！」と銘打って特別展を開催したり、市内各施設と連携した「スタンプラリー」などに取り組んだりしています。

館長からは、博物館には、①発掘・収集・研究、②展示—社会教育の2つの側面があります。是非来館して学んでいただきたい。これからも博物館の魅力を若い人に発信し、学校教育との連携も深めていきたいとのお話がありました。

開館時間：9時～17時 休館日：月曜日、第3火曜日（祝休日の場合は開館）

2018年度地域学校協働活動推進のためのコーディネーター養成講座

9月25日、三重県教育文化会館において、学校と連携・協働して地域を創生する「地域学校協働活動」の中核を担う地域学校協働活動推進のコーディネーターの育成を図るための養成講座が開催されました。本年度から3年間、年間3回の計画で実施されます。

第1回は「新しい教育政策(チームとしての学校等)とこれからの学校に関する知識」、「社会に開かれた教育課程の実現に向けた教育課程内外を通じた地域学校協働活動の推進に関する知識・技術」についての講座がありました。

編集 鈴鹿市社会教育委員の会

発行 鈴鹿市文化スポーツ部文化振興課 電話 382-7619

★鈴鹿市のホームページでもご覧ください ⇒

検索